

1 今年度の研究テーマ

「自立に向けた学習活動の共有化～授業改善を通して～」

2 はじめに

昨年度の校内研究では、「自立に向けた学習内容の共有化」というテーマのもと、自立と社会参加のための学習内容の整理（本校は「生活」または「生活単元」、東分教室は「数学」「社会」、南分教室はデータの蓄積と整理と授業シートの活用）に取り組み、学年間のつながりを確認したり、段階別のねらいを検討したりしました。

そこで今年度は、各学部の学習内容表を参考に授業改善に焦点を当てて行うこととしました。授業づくりの中で、「何ができるようになるか」「何を学ぶか」「どのように学ぶか」という主体的な（わかる）学習活動に加えて、「自立と社会参加に向けた次へのステップ」を考え、連動した教育活動を協議の中で深めていくことにしました。そして、協議シートとあわせて、統一の授業シート（資料1）・授業振り返りシート（資料2）を使用して、授業改善に取り組みました。また、これらの校内全体の取組みについて、総合教育センターの斉藤佳子先生より助言を頂き、改善をしながら進めてきました。

今回の研究では、学校全体として、自立と社会参加の視点で、主体的な（わかる）学習活動を考えるとともに、より良い授業・支援の観点を共通で持てることをめざしました。

3 研究の目的

- (1) 各学部で共有した学習内容をもとに授業を計画する
- (2) 主体的な（わかる）学習活動を考える
- (3) 研究を通して得た成果・課題を次の実践に活用できる

4 研究の組織

各学部で実施・運営し、学年もしくは学年の中でグループ分けしての授業づくり（授業改善）に取り組みました。

5 研究の方法

協議Ⅰ・実践授業・協議Ⅱ（以下で説明）を通して、授業づくり（授業改善）を進めていくとともに、自立と社会参加に向けた次へのステップを考え、評価で終わらずに次へとつながる連動した教育活動を考えてきました。

(1) 協議Ⅰ（資料3）～授業シートの作成～

【ねらい】

各学部で共有した学習内容表をもとに授業を計画する
主体的な（わかる）学習活動を考える

- ・ 題材や目標は、対象児童・生徒の自立の姿から「何ができるようになるか」「何を学ぶか」を共有する
- ・ 題材を実施するにあたっての工夫・配慮点を考えることを通して、主体的な（わかる）学習活動のために「どのように学ぶか」を共有する

(2) 実践授業

【ねらい】

協議Ⅰをもとに計画・準備した授業を実践する
本時の目標や実際の支援・手立てについて授業振り返りシートの項目ごとに振り返る

- ・ 授業を実践する
- ・ 授業振り返りシートを記入し、授業を振り返る（MT、ST、参観者）

(3) 協議Ⅱ（資料4）

【ねらい】

授業改善、自立と社会参加に向けた次へのステップ（連動した教育活動）

- ・ 授業振り返りシートをもとに実践授業の成果と課題について話し合う
- ・ 今回の学びを次にどのような授業（活動場面）につなげることができるかを話し合う

6 研究の概要

年間8回の校内研究日に加えて、全体会（2回）と実践授業研究会1回を設定しました。（※1）
また、多忙感解消をめざして、できるだけ設定した時間内で行うとともに、研究日を各グループの実情に合わせて、自由に移動できることとしました。

小学部は「生活科」の学習指導要領の内容をもとに授業を実施しました。中学部・高等部は、昨年度整理した「生活单元」の学習内容をもとに授業を実施しました。分教室については、様々な教科から将来の自立した生活に必要なスキルを考え、授業を実施しました。

各学部・分教室における実施した学習内容については、次の通りです。

各学部・分教室の実践授業の内容一覧（授業シートは、15 ページ以降にあり）

学部	学年	学習内容	
小学部	1年	すてきな帽子屋さん	バスに乗って公園に行こう
	2年	ワニたたきゲームをしよう	フルーツケーキをつくろう
	3年	お手伝いごっこ	掃除をしよう ※2
	4年	掃除名人になろう ～雑巾絞り編～	掃除名人になろう ～机拭き編～
	5年	あそびパークに行こう！	掃除をしよう ※2
	6年	コスモワールドに行こう！	修学旅行に行こう！
中学部	1年	仕事を知ろう	仕事をしてみよう
	2年	雑巾を絞ろう！ ～正しい清掃用具の使い方～	机拭き名人になろう！ ～正しい清掃の仕方～
	3年	メモ帳を作ろう	メモ帳を作ろう
高等部	1年	宿泊施設での生活（ルールとマナー）	進路校外学習 事前事後学習 ※2
	2年	清潔感のある身なり	
	3年	身の周りの施設（機関サービス）を知り、上手に利用しよう！！	
教室 東分	1年	フライングディスク	
	2年	経済のおおまかなしくみを知り生活に必要なお金を考える	
	3年	自立に向けて ～自分を守る～ ※2	
教室 南分	全学年	バスケットボール	
	全学年	学習発表会の練習をしよう！	

※1 全体会は、平成 29 年4月(実施)と平成 30 年3月(予定)の2回実施。実践授業研究会(H30.1.23.実施)は、校内全体での実践授業の研究会です。平成 29 年度の校内研究の成果(詳細)と年間の反省については、3月の全体会にて報告します。平成 29 年4月実施の全体会の資料(ppt)については、12 ページより掲載です。

※2 小学部3年・5年、中学部1年、高等部1年、東分教室3年は、実践授業研究会にて授業を公開します。
(授業シートは別配付)

7 今後の課題

今年度は、校内研究の実践授業は学年で進められてきました。日常から組んでいるチーム（日常から関わっている児童・生徒）の中で、「自立と社会参加に向けた次へのステップ」についての話し合いを深めることができました。また、実践を行う中で主体的な（わかる）学習活動を互いにアイデアを出し合い、共有し、作り上げることができました。しかし、学年間および学部間における縦でのつながり、実践の共有をなかなか図ることができませんでした。

また、学習内容表を活用する中で、有用性・活用方法などにおいて課題がみえてきました。今後、学習指導要領の改訂にともない、改めて学習内容や学習評価などの再確認が必要となってきています。近年の多様な働き方、多忙感の解消とあわせて、他の校務グループ（チーム）と連携を図るなど学校全体としての取組みを進めていきたいと考えています。

（研究推進チーム 北原 潤一）

(資料 1)

【題材名】	
【題材の位置づけ】	
【題材の目標】 ～対象児童・生徒の自立の姿～	
ステージⅠ：	学習内容表を参考に、ステージⅠ・Ⅱ・Ⅲの3段階を設定する。(丸数字は使用しない)
ステージⅡ：	
ステージⅢ：	
【題材の工夫した点・配慮した点】 ～主体的な学びのために～	
<ul style="list-style-type: none"> ・ ・ ・ 	
【題材の指導計画】(5時間目／5時間中)	
時	主な学習活動
1	
2	
3	
4	
5	本時
【本時の目標】	
<ul style="list-style-type: none"> ・ ・ 	

【題材の位置づけ】は、昨年度の研究せ
やの成果物(学習内容表)から引用する

学習内容表を参考に、ステージⅠ・Ⅱ・Ⅲの
3段階を設定する。(丸数字は使用しない)

～協議Ⅰで検討～
【題材名】
【題材の位置づけ】
【題材の目標】
【題材の工夫した点・配慮した点】
【題材の指導計画】
【本時の目標】
○展開(右ページ)
※普段作成している略案

学習活動の横には日付を書く

神奈川県立瀬谷養護学校 ○○部 第○学年 生活単元 授業シート(枠)

○ 写真(*写真は1～4枚程度で授業後に載せる)

図1

図2

図3

写真は授業後か
ジしやすいよう
掲示物等を載せ

○ 展開

自立の姿に向けての指導上の留意点を書く。

場所：

過程	主な学習活動	支援および指導上の留意点	資料・準備
導入 ○分	・	・	
展開 ○分 ○分	・	・	
まとめ ○分	・	・	

【考察】

<成果>

<課題>

【自立と社会参加に向けて（次のステップ）】

この題材を学習して、自立した力がついたか、次にどの
の場面で活かせるかを協議Ⅱで考える。

↓

今回の学習が、別の学習活動や日常生活にどう活かせるかを考える。

～協議Ⅱ～で考察と次のステップを考える
 授業振り返りシート（別紙）を使って＜成果＞＜課題＞をあげてま
 とめる。

（資料 2）
授業振り返りシート

◎チェックシートに記入してください。 ※回収後、対象学年で回覧をする（気になったところにフイフイを引く） ※

A 次の授業へのアドバイスとして、コメント（改善案）をできるだけ具体的に書いてください。

	観点	段階 (○・△)	コメント（良い点・改善点）
1	教室環境が整理整頓されていたか		
2	開始時刻、終了時刻を意識して授業の展開が されていたか		
3	授業で使う児童生徒が使用する道具やファイ ルや資料の置き場が決まっていて、動線がす っきりしていたか		
4	本学習の流れを児童生徒が共有できるように 工夫していたか(視覚的に示しているかなど)		
5	個々の児童生徒に本時の課題が理解できるよ うにしていたか		
6	本時の学習の中で適切な評価を個々の児童生 徒に返していたか		
7	教材・教具は、本時の学習の中で適切に活用 されていたか		
8	教師の話し方は児童生徒に伝わりやすい話し 方であったか		
9	チームで授業をおこなっていたか		

B 本時の学習は、当初の目標を達成できたと感じましたか。

「できた」と思われた場合は、どのような場面の言動から感じたのか？

「少し難しかった」思われた場合は、具体的な改善案を提示ください。

C その他、気づいたことをお書きください。

(資料3)

～協議Ⅰの進め方～

No.	内 容	資料	備 考
1	「題材名」「題材の位置づけ」「題材の目標」について	○	
2	「題材の指導計画」について		
3	主体的な学びを引き出すために工夫する点・配慮する点		
4	本時の展開(No.3の話と同時に進めても構わない)		
5	今後の計画、仕事の分担の確認		

・ **A**以外の授業シートの項目については、協議の中で進めていき、完成させていく。(協議Ⅰの時には、記録程度で構わない。)

※1 協議内容のNo.3はNo.4と同時に進めて構わない。

※2 No.3(主体的な学びを引き出すための工夫・配慮する点)については、学年[グループ]の実態を共有し、今回の学習で何を学び、普段の生活の中で各児童・生徒のどのような変容を考えているのかを学年[グループ]で確認し、だから、どのように学ぶと良いか等の手立てを箇条書きにする。

※3 展開を考える上では、※2と同時に授業振り返りシートのポイントを参考に授業の構成を考える。

※4 校内研究で授業実践を進める上で、「仕事を分担する」「他の人と協働で進める」ために、必ず授業実践までのスケジュールを明確にして、自分だけがスケジュールを把握するのではなく、仕事を任せ合い、周りを意識しあえるチームとして進めいく。

(資料4)

～協議Ⅱの進め方～

No.	内 容	資料	備 考
1	授業者(チーフ)の自評(1 ①②③)	○	
2	サブからのコメント(チェックシート1～9の振り返りも含む)→シートA		
3	よりよい授業にむけて(質疑応答)→シートB・C		
4	次回に向けて		

※授業振り返りシートを記入してあることを確認し、シート(A・B・C)をもとに話を進める。※司会者は授業者以外が望ましい

1 授業者は、次の手順で話を進める。

①今回の学年[グループ]の「題材の目標」を説明する。

②本授業を通して、各児童・生徒にとって協議Ⅰで本学年[グループ]のねらいが達成できたかどうかの話をする。

③その達成した要因がどこにあると考えているかの話をする。なお、達成できなかった部分については、No.3で話すので、結論を出さなくてもかまわない。ただ、自分で考えられる点がある場合、「達成できなかった要因」「こうすると、より良かった」などの点で話をする。

2 STは授業振り返りシート(A)をもとに、協議Ⅰなどで共有した観点で授業を進める上で「うまくいった点」「こうすればもっと良かった点」についての話をする。

3 よりよい授業に向けて授業振り返りシートの内容(B・C)を取り上げて協議を進める。

4 協議(協議Ⅰで話し合った内容を含めても構わない)を通して、今回の授業実践を通して「良かったところ」「さらにこうすると良いところ」をあげて、学年[グループ]で共有する。

※ 協議を進める際には、「この進め方は、○○の点でよかった」「この手立ては、○○の点で実態に合った手立てで良かった」などと理由もつけて確認し合うようにする。また、改善点は、「～の点は、…するとさらに良くなると思う」など必ず代替案を提案するようにする。

今年度の 「せやの研究」がめざすもの



2017/04/25
研究推進チーム

その前に…



これまでの研究の流れ

これまでのせやの研究の流れ

- 2014年度
一人ひとりの自立を考える
支援をつなげていくために
- 2015年度
一人ひとりの自立を考える
継続的な支援をするために
- 2016年度
自立に向けた学習内容の共有化

昨年度のせやの研究の成果

学習内容を共有できた



今年度のせやの研究のねらい

学習内容表を活用した授業づくり

主体的な（わかる）学習活動

すぐに活用できるもの

今年度の研究テーマ

自立に向けた
学習活動の共有化

～授業改善を通して～

その子の自立って何？



一人ひとりの社会参加に向けた**自立**



校内研究の進め方

①昨年度の成果物（学習内容表）を
学部の職員で共有

②学部で授業実践のグループの
編成を決める

③グループごとに授業実践の
単元を決める

※原則として、年間通して2回授業実践をする

※授業シートは、統一のシートを使用する

校内研究の進め方

④協議Ⅰ（準備）、協議Ⅱ（振り返り）を
校内研究の中で設置し、チームで
準備・振り返りをおこなう

⑤公開授業も授業実践のひとつとしてとらえる

※今回は外部の公開はなし

※公開授業も授業実践の回数のひとつとして含める

※授業実践と同一の授業シートで実施する

※外部講師（調整中）に全学部の授業の取り組みの総評をもらい、
講演をしてもらう

⑥授業シートをもとに
「せやハンドブック」を作成する

校内研究の進め方

【協議Ⅰ】
授業シートを用いて、授業準備

①題材の目標

「何ができるようになるか」
「何を学ぶか」



②本題材の工夫した点・配慮した点

「どのように学ぶか」

授業実践

【協議Ⅱ】
振り返りシートを用いて、振り返り

自立に向けた学習活動の共有

『せやハンドブック』

校内研究の進め方

【協議Ⅰ】
授業シートを用いて、授業準備

①題材設定の理由

「何を教えるか」「なぜ教えるか」

②本題材の工夫した点・配慮した点

「どのように教えるか」

授業実践

【協議Ⅱ】
振り返りシートを用いて、振り返り

自立に向けた学習活動の共有

『せやハンドブック』

その子にとっての自立をめざして

協議Ⅰ、授業実践、協議Ⅱを通じて

- 学部を越えた自立に向けた課題設定の共有
- 主体的な授業実践の工夫の共有

『せやハンドブック』

今年度の小・中学部、高等部の校内研究の取り組みを通して、瀬谷のキャリア教育のよさを再確認する。

全学部、全教科に通じる視点・観点を共有

子どもたちのためになり、
自分たちのためにもなる「研究」に
していければと思います。

一年間、よろしくお願いいたします。



参考・引用文献

- 1) 文部科学省 (特別支援学校) 学習指導要領 文部科学省HP
- 2) 梅永雄二 ライフスキルトレーニング実践ブック 2014 明治図書
- 3) 梅永雄二 15歳までに始めたい!発達障害の子のライフスキル・トレーニング 2015 明治図書
- 4) 渡邊昭宏 教科の授業でdeライフキャリア教育 2015 明治図書
- 5) 渡邊昭宏 自立活動の授業deライフキャリア教育 2015 明治図書
- 6) 筑波大学附属大塚特別支援学校(編著) 藤原義博/拓殖雅義(監修)
特別支援教育のとおき授業レシピ 2015 学研
- 7) 渡邊昭宏 みんなのライフキャリア教育
～「仕事力」＋「暮らす力」「楽しむ力」で「生きる力」に～ 2016 明治図書
- 8) 神奈川県立瀬谷養護学校 平成28年度「研究せや」 2017 神奈川県立瀬谷養護学校
- 9) 渡邊昭宏 保護者の願いに答える!キャリア教育
～キャリア発達を共に支援するガッチリ・スクラム～ 2017 明治図書
- 10) 文部科学省 (特別支援学校) 学習指導要領のポイント等 改訂ポイント 文部科学省HP